

### 3 特別会計

特別会計の歳入歳出決算額は、次のとおりである。

なお、各会計の説明で、人件費についての記載は省略してある。

(単位 千円・比率 %)

区 分	令 和 3 年 度			令 和 2 年 度		
	歳入決算額	歳出決算額	歳入歳出差引額	歳入決算額	歳出決算額	歳入歳出差引額
電気事業経営 記念基金会計	229,928	229,829	99	229,927	229,828	99
土地区画整理 清算金会計	1,756	1,756	0	4,804	4,465	339
母子・父子・寡婦福祉 資金貸付金会計	532,713	298,881	233,832	501,322	325,820	175,502
公債管理事業会計	59,492,751	59,492,751	0	61,114,412	61,114,412	0
競輪事業会計	30,483,263	29,920,991	562,271	13,505,306	12,920,410	584,895
国民健康保険 事業会計	70,098,887	68,165,057	1,933,830	68,766,003	66,782,072	1,983,930
農業集落排水 事業会計	311,751	310,107	1,644	331,519	329,882	1,637
駐車場事業会計	178,616	149,499	29,116	193,002	192,824	177
介護保険事業会計	71,708,735	70,708,672	1,000,063	69,233,063	68,746,613	486,450
介護保険 サービス会計	60,394	60,295	99	59,901	59,801	99
中央卸売市場 事業会計	629,944	579,536	50,408	649,533	608,116	41,416
後期高齢者医療 事業会計	9,818,402	9,502,131	316,270	9,774,121	9,473,869	300,252
静岡市立静岡病院 事業債管理事業会計	982,584	982,584	0	1,025,483	1,025,483	0
計	244,529,731	240,402,093	4,127,638	225,388,401	221,813,600	3,574,801
前年度比較	19,141,329	18,588,492	552,837	△3,254,865	△4,595,781	1,340,916
増 減 率	8.5	8.4	15.5	△1.4	△2.0	60.0

## (1) 電気事業経営記念基金会計

ア 決算概要は、次のとおりである。

区 分	予算現額	調定額	収入済額	執行率	収入率	不納欠損額	収入未済額
令和3年度	231,000	229,928	229,928	99.5	100.0	—	—
令和2年度	630,999	229,927	229,927	36.4	100.0	—	—
比較増減	△399,999	1	1	63.1	0.0	—	—
増減率	△63.4	0.0	0.0	—	—	—	—

区 分	予算現額	支出済額	執行率	翌年度繰越額	不用額	歳入歳出差引額
令和3年度	231,000	229,829	99.5	—	1,171	99
令和2年度	630,999	229,828	36.4	—	401,171	99
比較増減	△399,999	1	63.1	—	△400,000	0
増減率	△63.4	0.0	—	—	△99.7	0.2

(ア) 年度末における基金現在高は36億2,001万円で、その保有の内訳は有価証券22億7,067万円（中部電力株式会社株券4,541,346株）、現金13億4,934万円となっていた。

イ 決算収支の状況は、次のとおりである。

区 分	令和3年度	令和2年度	比較増減
A 歳入決算額	229,928	229,927	1
B 歳出決算額	229,829	229,828	1
C 形式収支 (A - B)	99	99	0
D 翌年度へ繰り越すべき財源	—	—	—
E 実質収支 (C - D)	99	99	0

## (2) 土地区画整理清算金会計

ア 決算概要は、次のとおりである。

区分	予算現額	調定額	収入済額	執行率	収入率	不納欠損額	収入未済額
令和3年度	4,639	6,999	1,756	37.9	25.1	—	5,243
令和2年度	7,176	7,173	4,804	67.0	67.0	—	2,369
比較増減	△2,537	△174	△3,048	△29.1	△41.9	—	2,874
増減率	△35.4	△2.4	△63.4	—	—	—	121.3

区分	予算現額	支出済額	執行率	翌年度繰越額	不用額	歳入歳出差引額
令和3年度	4,639	1,756	37.9	—	2,882	0
令和2年度	7,176	4,465	62.2	—	2,710	339
比較増減	△2,537	△2,709	△24.3	—	172	△339
増減率	△35.4	△60.7	—	—	6.4	△100.0

(ア) 収入済額は175万円で、予算現額に対する執行率は37.9%となっていた。これは主に、東静岡駅周辺土地区画整理事業において、納付が困難な滞納者が多かったことにより清算徴収金が見込みを下回ったためである。

(イ) 収入済額は、前年度に比べ304万円(63.4%)減少していた。これは主に、前年度は過年度滞納分の一括徴収による収入があったためである。

(ウ) 収入未済額は524万円で、前年度に比べ287万円(121.3%)増加していた。収入未済額は、清算徴収金493万円及び延滞金31万円である。

(エ) 支出済額は175万円で、予算現額に対する執行率は37.9%となっていた。これは主に、一般会計繰出金の原資となる東静岡駅周辺土地区画整理事業の清算徴収金の納付が見込みより少なかったためである。

(オ) 支出済額は、前年度に比べ270万円(60.7%)減少していた。これは、一般会計繰出金の原資となる東静岡駅周辺土地区画整理事業の清算徴収金が減少したためである。

イ 決算収支の状況は、次のとおりである。

(単位 千円)

区 分	令和3年度	令和2年度	比較増減
A 歳入決算額	1,756	4,804	△3,048
B 歳出決算額	1,756	4,465	△2,709
C 形式収支 (A-B)	0	339	△339
D 翌年度へ繰り越すべき財源	—	—	—
E 実質収支 (C-D)	0	339	△339

### (3) 母子・父子・寡婦福祉資金貸付金会計

ア 決算概要は、次のとおりである。

歳 入 (単位 千円・比率 %)

区 分	予算現額	調定額	収入済額	執行率	収入率	不納欠損額	収入未済額
令和3年度	465,003	1,063,159	532,713	114.6	50.1	352	530,093
令和2年度	450,973	1,035,986	501,322	111.2	48.4	6,971	527,692
比較増減	14,030	27,173	31,391	3.4	1.7	△6,619	2,401
増 減 率	3.1	2.6	6.3	—	—	△94.9	0.5

歳 出 (単位 千円・比率 %)

区 分	予算現額	支出済額	執行率	翌年度繰越額	不 用 額	歳入歳出差引額
令和3年度	465,003	298,881	64.3	—	166,121	233,832
令和2年度	450,973	325,820	72.2	—	125,152	175,502
比較増減	14,030	△26,939	△7.9	—	40,969	58,330
増 減 率	3.1	△8.3	—	—	32.7	33.2

(ア) 不納欠損額は35万円で、前年度に比べ661万円(94.9%)減少していた。不納欠損額の主なものは、貸付金元利収入25万円である。

(イ) 収入未済額は5億3,009万円で、前年度に比べ240万円(0.5%)増加していた。収入未済額の主なものは、貸付金元利収入4億2,810万円である。

(ウ) 支出済額は2億9,888万円で、予算現額に対する執行率は64.3%となっていた。これは主に、母子・父子・寡婦福祉資金貸付金で、資金の貸付けを執行する対象者数及び貸付金額が見込みを下回ったためである。

(エ) 不用額は1億6,612万円で、この主なものは、資金の貸付けを執行する対象者数及び貸付金額が見込みを下回ったことによる母子・父子・寡婦福祉資金貸付金1億6,325万円である。

イ 決算収支の状況は、次のとおりである。

(単位 千円)

区 分	令和3年度	令和2年度	比較増減
A 歳入決算額	532,713	501,322	31,391
B 歳出決算額	298,881	325,820	△26,939
C 形式収支 (A - B)	233,832	175,502	58,330
D 翌年度へ繰り越すべき財源	—	—	—
E 実質収支 (C - D)	233,832	175,502	58,330

#### (4) 公債管理事業会計

ア 決算概要は、次のとおりである。

(単位 千円・比率 %)

区 分	予算現額	調定額	収入済額	執行率	収入率	不納欠損額	収入未済額
令和3年度	59,506,000	59,492,751	59,492,751	99.9	100.0	—	—
令和2年度	61,281,000	61,114,412	61,114,412	99.7	100.0	—	—
比較増減	△1,775,000	△1,621,661	△1,621,661	0.2	0.0	—	—
増減率	△2.9	△2.7	△2.7	—	—	—	—

(単位 千円・比率 %)

区 分	予算現額	支出済額	執行率	翌年度繰越額	不用額	歳入歳出差引額
令和3年度	59,506,000	59,492,751	99.9	—	13,248	0
令和2年度	61,281,000	61,114,412	99.7	—	166,587	0
比較増減	△1,775,000	△1,621,661	0.2	—	△153,338	0
増減率	△2.9	△2.7	—	—	△92.0	—

(ア) 収入済額は、前年度に比べ16億2,166万円(2.7%)減少していた。これは主に、既往債の償還額が減少したことにより、一般会計からの繰入金が増加したためである。

(イ) 支出済額は、前年度に比べ16億2,166万円(2.7%)減少していた。これは主に、既往

債などの元金償還金が減少したためである。

イ 決算収支の状況は、次のとおりである。

区 分	令和3年度	令和2年度	比較増減
A 歳入決算額	59,492,751	61,114,412	△1,621,661
B 歳出決算額	59,492,751	61,114,412	△1,621,661
C 形式収支 (A-B)	0	0	0
D 翌年度へ繰り越すべき財源	—	—	—
E 実質収支 (C-D)	0	0	0

## (5) 競輪事業会計

ア 決算概要は、次のとおりである。

区 分	予算現額	調定額	収入済額	執行率	収入率	不納欠損額	収入未済額
令和3年度	32,724,896	30,483,263	30,483,263	93.2	100.0	—	—
令和2年度	13,687,274	13,505,306	13,505,306	98.7	100.0	—	—
比較増減	19,037,622	16,977,956	16,977,956	△5.5	0.0	—	—
増 減 率	139.1	125.7	125.7	—	—	—	—

区 分	予算現額	支出済額	執行率	翌年度繰越額	不 用 額	歳入歳出差引額
令和3年度	32,724,896	29,920,991	91.4	—	2,803,904	562,271
令和2年度	13,687,274	12,920,410	94.4	—	766,863	584,895
比較増減	19,037,622	17,000,580	△3.0	—	2,037,041	△22,623
増 減 率	139.1	131.6	—	—	265.6	△3.9

(ア) 収入済額は、前年度に比べ169億7,795万円(125.7%)増加していた。これは主に、特別競輪(KEIRINグランプリシリーズ)等を開催したことにより、勝者投票券販売収入が169億6,839万円増加したためである。

(イ) 支出済額は、前年度に比べ170億58万円(131.6%)増加していた。これは主に、特別競

輪（KEIRINグランプリシリーズ）等を開催したことにより、開催費が162億41万円増加したことに加え、静岡競輪場施設改善基金への積立金が5億2,002万円増加したためである。

(ウ) 不用額は28億390万円で、前年度に比べ20億3,704万円（265.6%）増加していた。この主なものは、勝者投票券売上額が予測を下回ったことに連動して減少した的中車券払戻金や委託料などの開催費27億5,151万円である。

イ 決算収支の状況は、次のとおりである。

(単位 千円)

区 分	令和3年度	令和2年度	比較増減
A 歳入決算額	30,483,263	13,505,306	16,977,956
B 歳出決算額	29,920,991	12,920,410	17,000,580
C 形式収支 (A-B)	562,271	584,895	△22,623
D 翌年度へ繰り越すべき財源	—	—	—
E 実質収支 (C-D)	562,271	584,895	△22,623

ウ 通常開催（特別競輪及び記念競輪を除く。）の状況は、次のとおりである。

(単位 千円・比率 %)

区 分	令和3年度	令和2年度	比較増減	増減率
開 催 回 数 (回)	11	11	0	0.0
開 催 日 数 (日)	41	40	1	2.5
入 場 者 数 (人)	61,902	94,860	△32,958	△34.7
1 開催当たり入場者数 (人)	6,878	9,486	△2,608	△27.5
勝 者 投 票 券 発 売 収 入	10,350,650	12,433,823	△2,083,173	△16.8
1 開催当たり勝者投票券発売収入	940,968	1,130,347	△189,379	△16.8
1 開催当たり収入額 (A)	945,893	1,139,813	△193,919	△17.0
1 開催当たり支出額 (B)	928,869	1,079,784	△150,914	△14.0
1 開催当たり収支差引額 (A)-(B)	17,023	60,028	△43,004	△71.6

(注) 1 開催当たり入場者数は、通常開催に係る入場者数を無観客で開催した2回を除く開催回数（9回）で除した数値である。その他の1開催当たりの数値は、通常開催に係る合計金額を開催回数（11回）で除した数値である。

(ア) 通常開催について前年度と比較すると、1開催当たり入場者は32,958人（34.7%）、1開催当たり勝者投票券発売収入は1億8,937万円（16.8%）、1開催当たり収入額は1億

9,391万円（17.0%）、1開催当たり支出額は1億5,091万円（14.0%）、それぞれ減少していた。

(イ) この結果、通常開催の1開催当たり収支差引額は1,702万円の黒字となっていたが、黒字額は前年度に比べ4,300万円（71.6%）減少していた。これは1開催当たり収入額、1開催当たり支出額ともに前年度より減少したが、1開催当たり収入額の減少の方が大きかったためである。

## (6) 国民健康保険事業会計

総括の決算概要は、次のとおりである。

(単位 千円・比率 %)

区 分	事 業 勘 定		直営診療施設勘定		計	
	金 額	前年度対比	金 額	前年度対比	金 額	前年度対比
歳入歳出予算額	71,118,667	98.8	107,626	101.0	71,226,293	98.8
歳入決算額	70,005,365	101.9	93,522	99.7	70,098,887	101.9
歳出決算額	68,071,535	102.1	93,521	99.7	68,165,057	102.1
歳入歳出差引額	1,933,830	97.5	0	—	1,933,830	97.5

### 事業勘定

ア 決算概要は、次のとおりである。

歳 入 (単位 千円・比率 %)

区 分	予算現額	調定額	収入済額	執行率	収入率	不納欠損額	収入未済額	還付未済額
令和3年度	71,118,667	72,126,314	70,005,365	98.4	97.1	508,605	1,655,698	43,355
令和2年度	72,012,868	71,025,248	68,672,228	95.4	96.7	633,884	1,763,890	44,753
比較増減	△894,201	1,101,065	1,333,137	3.0	0.4	△125,278	△108,191	△1,398
増減率	△1.2	1.6	1.9	—	—	△19.8	△6.1	△3.1

(注) 収入済額には、還付未済額を含む。

歳 出		(単位 千円・比率 %)				
区 分	予算現額	支出済額	執行率	翌年度繰越額	不 用 額	歳入歳出差引額
令和3年度	71,118,667	68,071,535	95.7	—	3,047,131	1,933,830
令和2年度	72,012,868	66,688,297	92.6	—	5,324,570	1,983,930
比較増減	△894,201	1,383,237	3.1	—	△2,277,438	△50,100
増 減 率	△1.2	2.1	—	—	△42.8	△2.5

(ア) 収入済額は、前年度に比べ13億3,313万円(1.9%)増加していた。これは主に、保険給付費が増加したことにより、県補助金が17億6,744万円増加したためである。

(イ) 不納欠損額は5億860万円で、前年度に比べ1億2,527万円(19.8%)減少していた。不納欠損額の主なものは、一般被保険者国民健康保険料5億409万円である。

(ウ) 収入未済額は16億5,569万円で、前年度に比べ1億819万円(6.1%)減少していた。収入未済額の主なものは、一般被保険者国民健康保険料16億2,040万円である。

(エ) 支出済額は、前年度に比べ13億8,323万円(2.1%)増加していた。これは主に、前年度に発生した新型コロナウイルス感染症の影響による医療受診控えの反動のため、当初の見込みよりも保険給付費が増加したことにより一般被保険者療養給付費が16億7,338万円増加したためである。

(オ) 不用額は30億4,713万円で、この主なものは、一般被保険者療養給付費6億6,727万円である。

イ 決算収支の状況は、次のとおりである。

(単位 千円)			
区 分	令和3年度	令和2年度	比較増減
A 歳入決算額	70,005,365	68,672,228	1,333,137
B 歳出決算額	68,071,535	66,688,297	1,383,237
C 形式収支(A-B)	1,933,830	1,983,930	△50,100
D 翌年度へ繰り越すべき財源	—	—	—
E 実質収支(C-D)	1,933,830	1,983,930	△50,100

## 直営診療施設勘定

ア 決算概要は、次のとおりである。

区分	予算現額	調定額	収入済額	執行率	収入率	不納欠損額	収入未済額
令和3年度	107,626	93,522	93,522	86.9	100.0	—	—
令和2年度	106,518	93,780	93,775	88.0	99.9	—	5
比較増減	1,108	△258	△252	△1.1	0.1	—	△5
増減率	1.0	△0.3	△0.3	—	—	—	—

区分	予算現額	支出済額	執行率	翌年度繰越額	不用額	歳入歳出差引額
令和3年度	107,626	93,521	86.9	—	14,104	0
令和2年度	106,518	93,774	88.0	—	12,743	0
比較増減	1,108	△252	△1.1	—	1,360	0
増減率	1.0	△0.3	—	—	10.7	—

イ 決算収支の状況は、次のとおりである。

区分	令和3年度	令和2年度	比較増減
A 歳入決算額	93,522	93,775	△252
B 歳出決算額	93,521	93,774	△252
C 形式収支 (A-B)	0	0	0
D 翌年度へ繰り越すべき財源	—	—	—
E 実質収支 (C-D)	0	0	0

## (7) 農業集落排水事業会計

ア 決算概要は、次のとおりである。

区分	予算現額	調定額	収入済額	執行率	収入率	不納欠損額	収入未済額
令和3年度	320,230	313,584	311,751	97.4	99.4	101	1,731
令和2年度	349,911	333,122	331,519	94.7	99.5	108	1,493
比較増減	△29,681	△19,538	△19,768	2.7	△0.1	△7	237
増減率	△8.5	△5.9	△6.0	—	—	△7.1	15.9

区分	予算現額	支出済額	執行率	翌年度繰越額	不用額	歳入歳出差引額
令和3年度	320,230	310,107	96.8	—	10,122	1,644
令和2年度	349,911	329,882	94.3	4,400	15,628	1,637
比較増減	△29,681	△19,775	2.5	△4,400	△5,505	7
増減率	△8.5	△6.0	—	△100.0	△35.2	0.5

(ア) 不納欠損額は10万円で、前年度に比べ7千円(7.1%)減少していた。不納欠損額は、全額農業集落排水施設使用料である。

(イ) 収入未済額は173万円で、前年度に比べ23万円(15.9%)増加していた。収入未済額は、全額農業集落排水施設使用料である。

イ 決算収支の状況は、次のとおりである。

区分	令和3年度	令和2年度	比較増減
A 歳入決算額	311,751	331,519	△19,768
B 歳出決算額	310,107	329,882	△19,775
C 形式収支(A-B)	1,644	1,637	7
D 翌年度へ繰り越すべき財源	—	—	—
E 実質収支(C-D)	1,644	1,637	7

## (8) 駐車場事業会計

ア 決算概要は、次のとおりである。

歳 入		(単位 千円・比率 %)					
区 分	予算現額	調 定 額	収入済額	執行率	収入率	不納欠損額	収入未済額
令和3年度	185,571	178,616	178,616	96.3	100.0	—	—
令和2年度	196,469	193,002	193,002	98.2	100.0	—	—
比較増減	△10,898	△14,385	△14,385	△1.9	0.0	—	—
増 減 率	△5.5	△7.5	△7.5	—	—	—	—

歳 出		(単位 千円・比率 %)				
区 分	予算現額	支出済額	執行率	翌年度繰越額	不 用 額	歳入歳出差引額
令和3年度	185,571	149,499	80.6	28,930	7,141	29,116
令和2年度	196,469	192,824	98.1	—	3,644	177
比較増減	△10,898	△43,325	△17.5	28,930	3,497	28,939
増 減 率	△5.5	△22.5	—	—	96.0	—

(ア) 支出済額は1億4,949万円で、予算現額に対する執行率は80.6%となっていた。これは主に、静岡駅北口地下駐車場の設備修繕業務を翌年度に繰り越したためである。

(イ) 支出済額は、前年度に比べ4,332万円(22.5%)減少していた。これは主に、静岡駅北口地下駐車場の設備修繕業務を翌年度に繰り越したことによるものである。

(ウ) 翌年度繰越額2,893万円は全額繰越明許費で、業務費の静岡駅北口地下駐車場管理経費(駐車設備修繕業務)である。

イ 決算収支の状況は、次のとおりである。

(単位 千円)			
区 分	令和3年度	令和2年度	比較増減
A 歳入決算額	178,616	193,002	△14,385
B 歳出決算額	149,499	192,824	△43,325
C 形式収支(A-B)	29,116	177	28,939
D 翌年度へ繰り越すべき財源	28,930	—	28,930
E 実質収支(C-D)	186	177	9

## (9) 介護保険事業会計

ア 決算概要は、次のとおりである。

歳 入		(単位 千円・比率 %)						
区 分	予算現額	調定額	収入済額	執行率	収入率	不納欠損額	収入未済額	還付未済額
令和3年度	72,215,487	71,926,764	71,708,735	99.3	99.7	50,920	195,328	28,220
令和2年度	69,837,180	69,455,874	69,233,063	99.1	99.7	58,641	194,822	30,652
比較増減	2,378,307	2,470,890	2,475,672	0.2	0.0	△7,720	506	△2,432
増 減 率	3.4	3.6	3.6	—	—	△13.2	0.3	△7.9

(注) 収入済額には、還付未済額を含む。

歳 出		(単位 千円・比率 %)				
区 分	予算現額	支出済額	執行率	翌年度繰越額	不 用 額	歳入歳出差引額
令和3年度	72,215,487	70,708,672	97.9	—	1,506,814	1,000,063
令和2年度	69,837,180	68,746,613	98.4	—	1,090,566	486,450
比較増減	2,378,307	1,962,058	△0.5	—	416,248	513,613
増 減 率	3.4	2.9	—	—	38.2	105.6

(ア) 収入済額は、前年度に比べ24億7,567万円(3.6%)増加していた。これは主に、本年度に保険料の基準額が改定されたことにより介護保険料が22億3,206万円増加したためである。

(イ) 不納欠損額は5,092万円で、前年度に比べ772万円(13.2%)減少していた。不納欠損額の主なものは、介護保険料の滞納繰越分5,091万円である。

(ウ) 収入未済額は1億9,532万円で、前年度に比べ50万円(0.3%)増加していた。収入未済額の主なものは、介護保険料の普通徴収分1億7,019万円である。

(エ) 支出済額は、前年度に比べ19億6,205万円(2.9%)増加していた。これは主に、介護サービス利用件数の増加により介護サービス給付費が13億5,223万円増加したためである。

(オ) 不用額は15億681万円で、この主なものは、介護サービスの利用件数が見込みを下回ったことによる介護サービス給付費7億8,078万円である。

イ 決算収支の状況は、次のとおりである。

(単位 千円)

区 分	令和3年度	令和2年度	比較増減
A 歳入決算額	71,708,735	69,233,063	2,475,672
B 歳出決算額	70,708,672	68,746,613	1,962,058
C 形式収支 (A-B)	1,000,063	486,450	513,613
D 翌年度へ繰り越すべき財源	—	—	—
E 実質収支 (C-D)	1,000,063	486,450	513,613

## (10) 介護保険サービス会計

ア 決算概要は、次のとおりである。

歳 入 (単位 千円・比率 %)

区 分	予算現額	調定額	収入済額	執行率	収入率	不納欠損額	収入未済額
令和3年度	60,310	60,394	60,394	100.1	100.0	—	—
令和2年度	60,100	59,901	59,901	99.7	100.0	—	—
比較増減	210	493	493	0.4	0.0	—	—
増減率	0.3	0.8	0.8	—	—	—	—

歳 出 (単位 千円・比率 %)

区 分	予算現額	支出済額	執行率	翌年度繰越額	不用額	歳入歳出差引額
令和3年度	60,310	60,295	100.0	—	14	99
令和2年度	60,100	59,801	99.5	—	298	99
比較増減	210	493	0.5	—	△283	0
増減率	0.3	0.8	—	—	△95.1	△0.5

イ 決算収支の状況は、次のとおりである。

区 分	令和3年度	令和2年度	比較増減
A 歳入決算額	60,394	59,901	493
B 歳出決算額	60,295	59,801	493
C 形式収支 (A-B)	99	99	△0
D 翌年度へ繰り越すべき財源	—	—	—
E 実質収支 (C-D)	99	99	△0

## (11) 中央卸売市場事業会計

ア 決算概要は、次のとおりである。

区 分	予算現額	調 定 額	収入済額	執行率	収入率	不納欠損額	収入未済額
令和3年度	634,174	777,587	629,944	99.3	81.0	—	147,642
令和2年度	664,937	797,478	649,533	97.7	81.4	1,406	146,538
比較増減	△30,763	△19,891	△19,588	1.6	△0.4	△1,406	1,104
増 減 率	△4.6	△2.5	△3.0	—	—	△100.0	0.8

区 分	予算現額	支出済額	執行率	翌年度繰越額	不 用 額	歳入歳出差引額
令和3年度	634,174	579,536	91.4	—	54,637	50,408
令和2年度	664,937	608,116	91.5	—	56,820	41,416
比較増減	△30,763	△28,580	△0.1	—	△2,182	8,991
増 減 率	△4.6	△4.7	—	—	△3.8	21.7

(ア) 収入未済額は1億4,764万円で、前年度に比べ110万円(0.8%)増加していた。収入未済額の主なものは、市場使用料9,817万円である。

イ 決算収支の状況は、次のとおりである。

(単位 千円)

区 分	令和3年度	令和2年度	比較増減
A 歳入決算額	629,944	649,533	△19,588
B 歳出決算額	579,536	608,116	△28,580
C 形式収支 (A-B)	50,408	41,416	8,991
D 翌年度へ繰り越すべき財源	—	—	—
E 実質収支 (C-D)	50,408	41,416	8,991

## (12) 後期高齢者医療事業会計

ア 決算概要は、次のとおりである。

(単位 千円・比率 %)

歳 入	区 分	予算現額	調定額	収入済額	執行率	収入率	不納欠損額	収入未済額	還付未済額
	令和3年度	9,845,153	9,902,625	9,818,402	99.7	99.1	19,713	81,400	16,891
	令和2年度	9,768,508	9,859,360	9,774,121	100.1	99.1	19,057	80,518	14,337
	比較増減	76,645	43,264	44,280	△0.4	0.0	655	881	2,553
	増減率	0.8	0.4	0.5	—	—	3.4	1.1	17.8

(注) 収入済額には、還付未済額を含む。

(単位 千円・比率 %)

歳 出	区 分	予算現額	支出済額	執行率	翌年度繰越額	不用額	歳入歳出差引額
	令和3年度	9,845,153	9,502,131	96.5	—	343,021	316,270
	令和2年度	9,768,508	9,473,869	97.0	—	294,638	300,252
	比較増減	76,645	28,262	△0.5	—	48,382	16,018
	増減率	0.8	0.3	—	—	16.4	5.3

(ア) 不納欠損額は1,971万円で、全額が後期高齢者医療保険料の普通徴収分である。

(イ) 収入未済額は8,140万円で、全額が後期高齢者医療保険料の普通徴収分である。

(ウ) 不用額は3億4,302万円で、この主なものは、後期高齢者医療広域連合納付金3億3,576万円である。

イ 決算収支の状況は、次のとおりである。

(単位 千円)

区 分	令和3年度	令和2年度	比較増減
A 歳入決算額	9,818,402	9,774,121	44,280
B 歳出決算額	9,502,131	9,473,869	28,262
C 形式収支 (A-B)	316,270	300,252	16,018
D 翌年度へ繰り越すべき財源	—	—	—
E 実質収支 (C-D)	316,270	300,252	16,018

### (13) 静岡市立静岡病院事業債管理事業会計

ア 決算概要は、次のとおりである。

歳 入 (単位 千円・比率 %)

区 分	予算現額	調定額	収入済額	執行率	収入率	不納欠損額	収入未済額
令和3年度	983,900	982,584	982,584	99.9	100.0	—	—
令和2年度	1,027,000	1,025,483	1,025,483	99.9	100.0	—	—
比較増減	△43,100	△42,898	△42,898	0.0	0.0	—	—
増 減 率	△4.2	△4.2	△4.2	—	—	—	—

歳 出 (単位 千円・比率 %)

区 分	予算現額	支出済額	執行率	翌年度繰越額	不 用 額	歳入歳出差引額
令和3年度	983,900	982,584	99.9	—	1,315	0
令和2年度	1,027,000	1,025,483	99.9	—	1,516	0
比較増減	△43,100	△42,898	0.0	—	△201	0
増 減 率	△4.2	△4.2	—	—	△13.3	—

イ 決算収支の状況は、次のとおりである。

(単位 千円)

区 分	令和3年度	令和2年度	比較増減
A 歳入決算額	982,584	1,025,483	△42,898
B 歳出決算額	982,584	1,025,483	△42,898
C 形式収支 (A-B)	0	0	—
D 翌年度へ繰り越すべき財源	—	—	—
E 実質収支 (C-D)	0	0	—